

認知症行方不明高齢者が増えています

福井県では令和6年に99人の認知症行方不明者が確認されています。

【認知症の疑いがある人が行方不明となった場合】

- ①5分から10分程度、自宅周辺を探す
- ②さらに近所を10分程度探しても見つからない場合は、すぐに警察に相談する

警察に行方不明届を出す時間が早いほど、本人発見までの時間が短くなります。ためらわずなるべく早く搜索の協力を得ましょう。

※高齢者は脱水症状になりやすく、水を求めるためか水辺で亡くなることが多いです。認知症の行方不明者のうち、亡くなって見つかった方の7割以上が、半径5キロ以内の川や山林で発見されています。近くに水辺があれば、まずはその周辺を探しましょう。

GPS装置を活用しよう

服や靴、カバン等に付けることで、家族がスマホで居場所を把握することができます。
全国でGPSなどを介して発見された行方不明者は全員が生存していました。

大切な人の安全のため、活用してみませんか。

※GPS装置は量販店やオンラインショップ等でお手頃な価格で購入可能で、月々の費用が不要のものがあります。



お問合せ

福井市役所 地域包括ケア推進課

☎ 20-5400